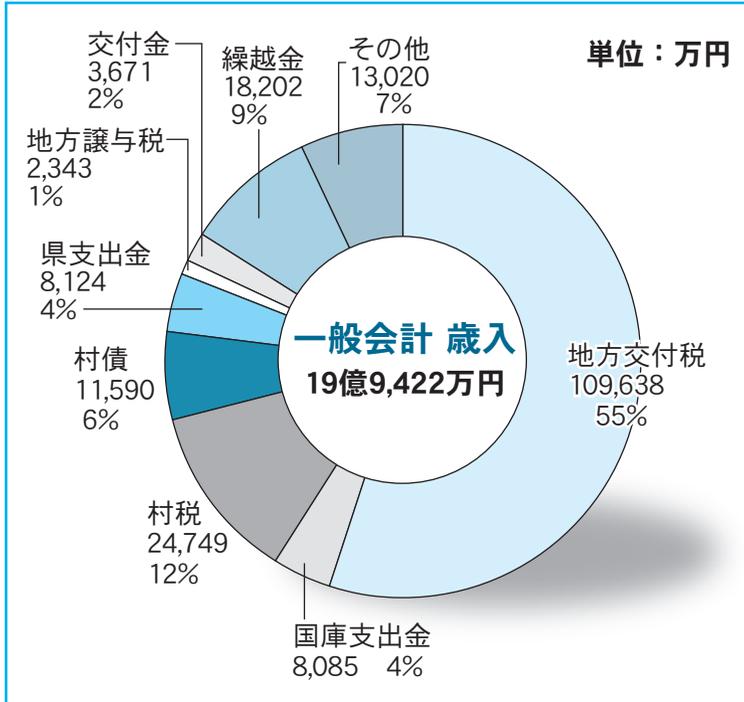


平成24年度決算報告

平成24年度決算が9月に開催された村議会定例会で認定されました。一般会計では、歳入総額が19億9,422万円、歳出総額が18億3,700万円、差し引き1億5,722万円の黒字決算となり、25年度へ繰り越しました。これは、平成23年度と比較すると、歳入で9,904万3,038円(4・73%)、歳出で7,424万7,046円(3・88%)の減額となっています。

平成24年度一般会計の状況

歳入総額 19億9,422万円
 歳出総額 18億3,700万円
 差し引き 1億5,722万円
 の黒字決算となりました。



歳入

平成24年度は、23年度と比較して、歳入が約9,904万円の

減少となるなか、歳入に見合った行政運営が行われました。県支出金は昨年度と比較して増額となりましたが、地方交付金を

はじめ、村税や国庫支出金などの項目が減額となりました。主な費目の概要は次のとおりです。

地方交付税は、財源不足を補うため国から交付され、村の歳入の骨格となっており、23年度に比べ約119万円の減額となりました。

村税は、村民の皆さんから納めていただいていた固定資産税や住民税で、村の自主財源のほとんどを占めているものです。23年度に比べ約803万円の減額です。

村債は、村が事業を行ううえで、財源不足を補うための借入金で、将来交付税措置される有利な特例地方債(臨時財政対策債)および過疎対策事業債を借入れています。23年度に比べ約4650万円の減額です。

繰入金は、主に財源不足を補うために基金を取り崩して繰り入れたものですが、23年度に比べ約524万円の減額となりました。

比較して約1314万円の減額です。

特別会計の決算状況

会計区分	収入済額	支出済額	歳入歳出差引額
国民健康保険	5億2,716万円	4億3,060万円	9,656万円
介護保険	4億1,658万円	4億58万円	1,600万円
浄化槽設置管理	3,378万円	3,274万円	104万円
後期高齢者医療	3,535万円	3,517万円	18万円
簡易水道	9,051万円	7,889万円	1,162万円
村営バス	1,969万円	1,969万円	0万円

